

# 金融イノベーションと金融サイエンス —資産運用の在り方と低金利環境へのチャレンジ—

ロバート・マートン (講演)  
本多俊毅 (通訳・解説)

## 目 次

1. 金融サイエンスの発展
2. 低金利環境下でのリターン獲得
3. 金融イノベーションと投資の世界

金融システムの発展は、持続的な経済成長に貢献してきた。それには、金融イノベーションや金融サイエンスが不可欠であり、過去、オイルショックなどによってもたらされた金融危機のたびに、金融イノベーションが誘発され、金融システムは発展してきた。その結果、金融規制や金融政策までもにも影響を与え、予期せぬ発展へとつながっている。昨今の資産運用と未曾有の低金利下にチャレンジする。



**ロバート・マートン (Robert C. Merton)** [1997年ノーベル経済学賞受賞者]  
マサチューセッツ工科大学スローン・スクール・オブ・マネジメント特別教授、ハーバード大学名誉教授。コロンビア大学にてエンジニアリング数学学士号、カリフォルニア工科大学にて応用数学修士号、マサチューセッツ工科大学にてPh. D. を取得。ファイナンス理論、特に多期間最適ポートフォリオ、資産価格理論、デリバティブ価格理論などの分野で数多くの著作・学術論文を発表。1997年金融派生商品の価値を決定する新メソッドを考案した功績により、アルフレッド・ノーベル記念経済学スウェーデン国立銀行賞を受賞。



**本多 俊毅 (ほんだ としき)**  
一橋大学大学院経営管理研究科教授。1990年一橋大学経済学部卒業、92年一橋大学大学院経済学研究科修士課程理論経済学専攻修了(経済学修士)。93年米国スタンフォード大学エンジニアリング・エコノミック・システムズ学部修士課程修了、97年米国スタンフォード大学エンジニアリング・エコノミック・システムズ・アンド・オペレーションズ・リサーチPh. D.、横浜国立大学経済学部助教授、一橋大学大学院国際企業戦略研究科助教授を経て、2012年より一橋大学国際企業戦略研究科教授、18年4月から現職。日本ファイナンス学会副会長、証券アナリストジャーナル編集委員。

(本稿は2018年11月14日に日本証券アナリスト協会で開催された講演会の要旨である。)